

栄八通信

武雄市議会だより

第 27 号



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

147 10 月末発行

【市長具約42関係分】

- ・ハイブリット車購入
(下取り残) 276万円
- ・ホームページ充実 993万円
- ・企業誘致 241万円
- ・市役所CATV動画化 135万円

合計 1,645万円

H18年度事業紹介(主なもの)

東川登小校舎大規模改造



3年間事業で総額8億円
3億3千4百万円

高架・区画整理



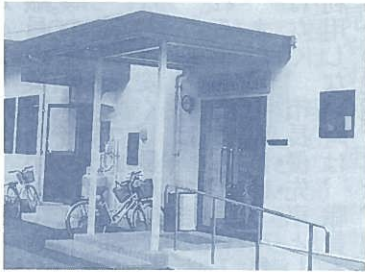
まだ、南国ビル横が繋がらない
2億2千9万円(負担金・繰出金)

公共下水道



アクロスプラザ前、現在掘削済み
6千9百万円(繰出)

合併浄化槽



下水道課で公共・農排と共に推進
148基分予定(北方23基)
6千5百万円

(主要道路)武雄―高橋線



地権者との関係で少し進捗遅い
朝日町の甘久の栗原住宅前
5千5百万円

合併に伴う電算統合費



パソコン300台を廃棄した
1市2町のコンピューター等統合
3千8百万円

北方中学校体育館大規模改造



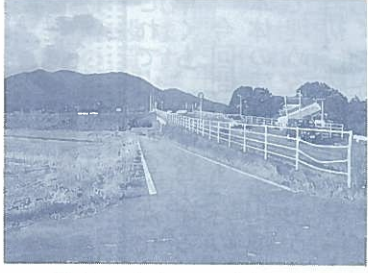
高校総体のバドミントン会場
1億5千5百万円

北方中央線整備



ユートク裏に住宅地開発の幹線
1億6千6百万円

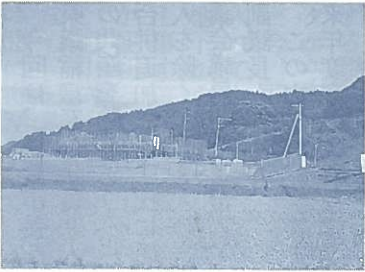
新橋陸橋改修(追分―医王寺線)



元県道で六角川の橋本体は
県で両土手部分のみ
1 億円

山内町

農業集落排水大野処理場建設



山内町の水洗化完了へ(事業費)
2億3千3百万円

(主要道路)白水―唐原住宅線



拡幅し歩道も整備する
9千万円

(林道整備)

板ノ川内、日ノ峰線



日ノ峰ダム方面
8千4百万円

H18年度
予算185億円
で一般会計はスタート!

合併前の、H17年度の、当初予算は、旧武雄市112億円、旧山内町37億円、旧北方町が30億円で合計すると179億円なので合併して6億円増加し、得したと見ることが出来る。

ただ、合併特例債を10年間で約80億円、利用する計画なので、年8億円は特例債が加勢している。なお、185億円の中、8億円分の特例債については、まだ事業が国、県に認められていないので、基金を当面8億円くずし、一般会計に繰入れて、特例債事業が認められ、交付税が来た時点で、基金に返す方法を取っている。

だから、特例債事業に認められなければ、予算額も減少する可能性もある。

一方、長期の財政計画については、合併協議会の新市建設計画の中で、10年間の予測が出ており、それには、普通会計(一般会計と土地区画整理会計の合計)で示しているが、190億円(台)で推移し、赤字の心配はない予測内容。

ちなみに、予測では、H18年度予算は、199億円と予測してあり、現実のH18年度の予算と比較すると、(一般会計は185億円と、土地区画整理の会計が3億円)合計する普通会計は188億円(約11億円少ないが、今後補正予算で、10億円程度は増加すると思われるので、一応予定どおりと認められる。

他方、支出の方の特徴は、職員約19名が退職し、新規採用をしなかったのが約2・4億円が削減されている。

新武雄市 未来年表

H 21	H 20 (2008)	H 19 (2007)	H 18 (2006)
4 区画整理25年位まで 朝日保育所統合新築?	4 川内農排利用開始 水道料金値下げ? 固定資産税減額?	12 公共下水道処理場完成 保養村第3次整備着手 北方中学校校舎改造	7 駅南道路整備 北方中体育館改修 東川登小大規模改造着手 武雄駅建設 川端遊歩道整備 市役所前中央公園整備
3 旧鉄道線路撤去	3 鉄道高架切替 武雄―高橋線完成 白水―唐原住宅線完成	3 下水道マップ見直し 大野地区農排利用開始 新市マスタープラン策定 新川登保育所統合新築 国保税再値上げ? 市設置型浄化槽開始?	4 新武雄市市長・議員選挙 副市長二人制スタート

※この年表は発行者が独自に作ったもので、正式なものではありません。

他会計の概要

18年度見込み

工業用水	水道事業	市民病院	農排（維持分）	保養村給湯	国 保	たけお競輪	収支
673万円	16億0,117万円	17億0,117万円	使用料 65.72万円	2,700万円	49億8,288万円	136億1,628万円	収支
6,201万円	15億9,484万円	18億5,110万円	1億3,352万円	750万円	50億8,288万円	138億4,028万円	支出
▲ 5,700万円	+ 1,357万円	▲1億4,992万円	▲ 6,680万円	+ 1,950万円	▲ 1 億円	▲2億3,000万円	差額
一般会計より 繰入れ補填	利益積立金へ 残 15億0,597万円	累積赤字合計 ▲6億8,311万円	一般会計より 加算（戸） 加武雄 54 北 165 山 1,424	（繰出） 基金へ 1,200万円 観光費へ 750万円	基金より補填 残 1,962万円	基金より補填 残 3億0,118万円	処理

6月定例議会ホットな議論

今議会、まだ新市長のカラーを全面に打ち出せる予算でもなかった為に市議との大議論はあまりなかったが、次の3点については、結構議論がありました。

【市長黒ぬり車廃止】

樋渡市長の具約42の中にあつたもので、権威のシンボルである高級黒ぬりの市長車を廃止して、災害時にかけつける4WD車で、しかも環境に配慮したハイブリッド車を導入するという案である。

質疑や異論としては、4WD車が約4百万と高額なこと、また旧3首長車3台と武雄市議長車の4台のうち、3台をオークションで販売するに当り、残す1台は、将来再度購入する事も考え年式の新しい物を残すべきとの批判。

また、通常の業務の時、4WDが必要な場合、市長車では、一般職員の業務利用ができない非効率等の意見が出された。

答弁としては、高額だが、燃費などは安く、長期間では経済的。下取り等は、できるだけ高く売れる車の方が良いとの見方。

また、4WDは、市長専用車でなく、市長優先車とし、市長が利用しない時は、職員も利用できるとの説明。また、他から客を歓迎する為の黒ぬり車1台は、議長優先車として、議長が使っているのを利用すると少し複雑。

ちなみに黒ぬり車オークションは、8月中に行い、新車は10月頃購入の模様。

今後、議長優先車の、3千CCの黒ぬりについては、市長は、議会に任せるとの意向なので、今後議長がどう判断するのか注目される。

【農排処理場の工法変更】

山内町4ヶ所目の農排（農村地域の下水道事業）処理場建設で、

これで山内町の水洗化の事業は、早くも、ほぼ終了する。

今回問題になったのは、処理場の本体の建設で、浄化槽を土を掘って埋めるのと同じような工程で、当初、鉄板を打ち込んでカベを作った本体を作る予定だったが、土が固く、打ち込めず、鉄のH鋼を杭変りに打ち、板で柵を作った土留めをする方法に変えた。

その為に約2千3百万円の費用が増え、しかも、これが旧山内の12月議会にかけず、工法を変更して、費用が増加したにもかかわらず、工事を続けていたもの。

私の所属する建設委員会では責任を明らかにする為に、地質調査会社・設計会社・施工会社についての業務の調査を行った。

結局まず、議会への報告は、合併の混乱の中ではあったものの適格にすべきで、旧山内町の事ではあるが、新市での注意も指摘。

また、土質調査は4角を検査して、通常一般的で問題はないとの話。また設計会社も、先ずは他の3ヶ所と同様、安価に施行できる工法を採用するのは、高い工法をまず選択するより良いのではとの結論で、誰にも責任を求めることは出来なかった。

ただ、私自身が感じたのは、場所が武内町と隣接する山内町大野地区にあるが、現地に行くと小高い山の真下にあり、地層が複雑であるのはい目で解る。

最初に、処理場の場所の選定に他の場所との比較検討が十分になされたのが問題点と思う。

【国保会計未収金問題】

上の予算状況でも判るように、H18年度、国保税率を9・9%に上げて、赤字1億円で、基金が残り約2千万円と行き詰って

再値上げの可能性もある。

今回問題となったのは、国保税の未納者が増加し、その分まじめに支払っている加入者の負担が増えている。そこで市の一般会計か

らも、援助すべきではないかとの論点。

答えは、一般会計からの補填は考えていないが、収納率を上げれば、国からの補助があるので、努

前後しますが、4月と5月に臨時議会がありました。

◎4月26、28日の臨時議会では、「議長や委員長などの選出」と「専決処分承認」が主な議題。

状況を簡単に説明すると、議長は山内町出身の杉原氏に決定。議長については、10年前までは国会議員の愛野・山下系の連合で多数派を取り議長輩出。

最近では県議の石丸・古庄系連合で、原・藤山・谷口各氏が選任された。

今回は、樋渡市長を支援した、県議稲富系の議員9人に、山内町の共産を除く全5人と、北方町は、合併追加で古庄氏に恩義を通す1人を除く、他3人の合計17名で市議会議員30人の過半数を取り議長・副議長も押えた。

この力学が、今後とも続くかは来年度春の佐賀県議選挙に市議がどう分れるかで変わると思われる。

次の専決処分と言うのは、合併した3月から、市長職務代理者の永尾氏（旧山内町長）の当面必要な予算の執行や条例改正を承認するもので、私としては、例えば「市立北方幼稚園には、旧北方町住民しか入れない。」とか問題のある条例もあったが、まずは承認し、今後改正を求めようと思っ

ている。なにせ、厚さ8cmにもなる条例全部を、今詳細に点検するのは、現実的には無理。

※私は委員会について、建設常任

委員会・環境問題特別委員会に所属し2年間働く。

◎5月22日の臨時議会では、「副市長などの承認」と「北方中学校の体育館の改築の為の設計委託料の採決」であった。

今回、収入役を廃止し、内政・外政の2人の副市長制の提案だが、正式な現行法では、まだ副市長制は認められてなく、一人助役制で、助役の名称を、副市長と呼ぶ規則を作る複雑な方法だが、市長の意欲は感じる。

ただ私は、選挙後、市民の数多くの方から、「新市長はどうね？副市長は、民間企業や経済シンクタンク、また、高槻市から優秀な職員を連れて来んさー」と言わ

るのか？」など、私に、副市長の人選に、大いに期待した意見を言われ、その為か、どんな人脈でいかなる人が提案されるか注目。

しかし、結果的には内政は、これまでと同じ、収入役上がり、で、継続性からやもう得ないにしても、外政を県からの職員の実質的に出向の型で、ガッカリ。

ただ、これまで、県から来た助役は、私が関係した時期でも、4人いたが皆、実直で優秀。

ただし、今回は2年間で、企業誘致などの実績を残す至上命題があるので、これまで経験と、ノウハウを持って人材がベストと思

力したいとの意向。

ただ、再度税率を上げれば、水道料・固定資産税と同じく、県内ワースト1位になる可能性があり、今後の新武雄市の重要課題である。

2年後の人選へのアピールも含めて、外政の人事案件に、私は、初めて反対した。

私としては、外政副市長が、反対された事を、発奮材料として、大型の企業誘致を実現して欲しい。その時は私も、反対したことを心より、謝罪するつもりだ。

また、「北方中の体育館」の件だが、この案件だけ、何故臨時議会に出るのか？そして北方中は、武雄小などの昭和30年代の校舎より、10年以上も新しいのに、先に改築するのこの不公平を質問。

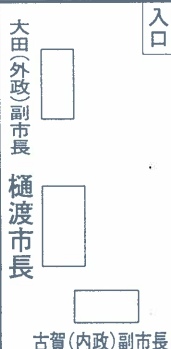
これまで、旧武雄市は、学校の大規模改造は、年度に1ヶ所だったで、予定されていた、東川登小が来年度送りになるのかと心配。市内全学校の改築計画を作り、全体のバランスを考え順番を決めべきと主張。

答えは、北方中学校の校舎、体育館は、3ヶ年計画を合併前に国に認められているので、実施するとの返答。私の目的は、北方中の改築を止める事でなく、旧武雄市や山内町の、古い校舎の改築早期改築が目的なので、ここは一旦賛成し、6月議会の一般質問で取り上げる方向を選択。

ただ、6月議会の議案に、東川登小の改築予算はついていたので、一応納得。新武雄市では、年2ヶ所の大規模改造を進める計画のよう

うで、うまくやれば、旧武雄市の学校の改築が早期実現できる可能性も出て来た。

市長室見取り図



私の一般質問

1 行政改革について

①合併特例債事業の選択に市民の声を反映を

【答弁の要旨】

事業選定に当り、市民の声を聞く方針はない。特例債利用は県との調整も必要。上下水道・学校・公営住宅等を考えている。

※私は、さみだれ式でなく、全体計画を市民に示して欲しいと要望。

②水道料金等の値下げの為の専門委員会の即時設置を

【市長答弁要旨】

手順として、まず、市役所内で検討した後に、専門審議会にかけ。専門審議会は、ケーブルテレビで放映するなど、市民に開かれた民主的方法で開催する。

③新具約の追加や整理への考え

【市長答弁要旨】

具約の追加などの考えはもっている。個人の政策から、マスタープランの中に入れて進める。

④市長の重要課題への方針

①企業誘致の今後の段取り

(省 略) これからの主旨

②競輪事業の今後の方針

(省 略) 別記

③市営の浄化槽事業導入への新市長の方針は

【市長答弁】

以前の市長の方針は知らないが新市の下水道計画見直しの中で、整備効果や、住民の納得できる方法で進めて行く。

④保養村整備は今後も続けて行くのか?

【答弁の主旨】

保養村、第3次整備計画に基づいて整備して行く。ソフト事業を決め必要なハードを整備して行く。

市長提案

(新規事業)

◎市民ホームページ作成

993万円

武雄市役所のインターネットのホームページを、充実させる。「見やすく、使いやすく」して、市長は、現在の50倍、100倍のアクセスを目指していると言う。

ちなみに現在のホームページは3回改造し、1、300万円を投入している。今回新規に作るが、7月中に業者に提案させ、8月中には、お目見えすると言う。

◎CATV行政情報拡充

189万円

現在、ケーブルテレビで、放映している行政情報の文字放送を、職員が出演するなど動画で親しみやすくするもので、市役所3階にスタジオがあるが、そこにカメラや一部システムを増設する。

◎史跡おつば山公有化事業

2、111万円

橘町の小学校西3km古川製陶裏の辺りにある。古代、朝鮮式山城跡、残っているのは、四角い石の列石が1・8kmならんでいるだけだが、全国に16ヶ所しかなく、ある意味貴重で、地元より専門家の評価が高い。ただ活用が難しく、当面、民地を買って公有化の方針は出されていた。

今回、予算の9割は国の補助金を利用して購入するが、5年間で1億5千8百万円を予定している。

◎新市総合計画策定事業費

189万円

要は、新市のマスタープラン、通常は、約10年間の計画を、コン

サルタントを利用し、約1千万円程度かけて作成する。今回、市長の方針で、市役所で作成する。ただ、H13年に旧武雄市・北方は作成し、山内もH8年に作成している。今回、その統合が基本。審議会の費用、約900万円、製本費は百万円。来年3月に完成。

◎高齢者実態把握業務委託料

1、022万円

武雄市内の、支援の必要な高齢者の実態を調査し、適切なアドバイスや支援に役立てる。調査は市内にある老人施設の専門委員が高齢者世帯を訪問する。

具約42の実現と新提案を応援します。

今回の市長選挙で政策(具約)を明示して選挙にのぞまれた樋渡市長に対し、評価しています。当初具約は38項目あり、3月11日以降、市民からの意見から4項目を追加し、42になっています。追加された、4項目は、徒歩による健康作り・廃プラスチックのリサイクル・大楠3本の観光活用・ピロリ菌対策のようです。

私が、特に関心をもっているのは、3番目の「佐賀県一になる予定の水道料金、固定資産税の税率、介護保険料等の引き下げに向けて、専門審議会を設け、検討を開講します。(H20年)」と言うことで、合併議論の中でも課題とされている内容です。

ただ、実施がH20年となっていて、前古庄市長は、合併時点で旧武雄市の料金は下げるとの方針からすれば、2年も遅れることになり、不満が残る。具約の注釈にも「開始年度は、可能な限り前倒しします。」とあり、今6月議会の一般質問で、専門委員会の前倒し設置の提案をした。市長は、「専門委員会の前に、市役内で検討する」とのこと、まずそれがスター

トとなるが、その日程は現在明確になってなく、今後状況を調査し、9月議会でも質問したい。

一方、樋渡市長は、この具約以外にも、市長就任後、新提案をさ

れていて、主なものを紹介すると、

水道料金、全国同規模自治体で日本一高いが、鉛管問題を考える!

水道の送水の管として、水を遠くへ送る本管と、メーターに分水する枝管、そして個人所有のメーターから家までの給水管がある。

今、問題になっている鉛の管が入れているのが、枝管の部分で、地下から地上へ、障害物をさけて工事するには、変形の容易な鉛管が便利として利用されて来た。

旧山内・北方町には使用されてなく、旧武雄市の昭和50年、63年の間に布設されている。

使用戸数としては、4、634戸で、旧市内9千世帯からすれば、約半分が鉛管のエリアとなる。

ところで、急に鉛管の健康への影響をいわれているかと言え、H15年に、これまでの日本の基準1ℓ当り0・05mgから、WHOの基準0・01mgに強化されたことから、一時的に0・03mg検出される時もあると言う。

それは、長期間水道を停止して出した水5ℓ中には、わずかに基準を越えるものがあるが、市は朝の出し始め、5ℓを飲用にしないければ、まったく問題ないし、あまりこの問題を大きく広報し、いらぬ混乱をまねくとして積極的な広報はせず、近辺の工事の際に随時鋼管に変える計画をしていた。

今回、新市になり、調査したら、鉛管が3、828箇所あり、老朽管交換時に1、261箇所・単独で2、567箇所を、10年間で交

- ◎武雄温泉駅南口に大楠を植樹
- ◎温泉街・御船山周辺を景観地区へ
- ◎武雄市のお祭を秋祭に一本化
- ◎三都物語Ⅱ唐津・佐世保と連携
- ◎温泉街周辺に多数の駐車場確保
- ◎小児科医を広域市町の財源で確保

換すると言う。予算総額は3億3千3百万円を見込む。

また他の市では、個人所有の給水管に鉛管が使用されていて、個人が負担できず対応に困る市もあるが、幸い武雄市の給水管には鉛管の使用は無いとのこと。

また、伊藤水道部長の試算では水道施設運転を民間委託等すれば年間3千万円程度経費が削減できるとの話なので、これで、年3千万円の鉛管交換費が捻出され、水道料金を上げず、安心の水が手に入る事になればと願う。

※ 追伸、朝一番の水5ℓ中の3ℓ目が、大概数値が高いが、その理由は、初めの1・2ℓは、家内の給水管に寝ていた水で、3ℓ目ぐらいが鉛管上に寝ていた水と考えられるので、参考に!

結果その分程度が、旧武雄市での袋の不良在庫となっている。一方、左表の様に、どちらかと言え、旧山内町や北方町が人口に対し、不良在庫は多くこの問題の要因の多くをしめている。

また、旧武雄市には、別にゴミ袋に名前を書く以前の袋の不良在庫が同じく10万枚程度あり、婦人会へ、名前を余白に書くことを条件に販売をされ6万枚に減ったが、それも新市袋になってからは行なわれていないようだ。

結論としては、樋渡市長が、旧袋の販売をするの方針で、9月議会に定め、いくぶん引きがらって条例に定め、売れるものと思われ。ちなみに、袋作成の平均単価は、約10円で、約40万枚在庫があるので袋代で400万円が活用される。

余ったゴミ袋の今後 旧市町村のゴミ袋 46万枚はゴミか?

新聞報道で、武雄市内の旧ゴミ袋の不良在庫が大量に有り、それがごみになる可能性があるとの指摘があっていました。

取り方によっては、議員のチェックの甘さを感じられる市民もおられると思います。

私自身、このような事は当然予測できたので、前生活環境課長に、在庫が残らないように、何度も確認をして来ました。

そこで、旧武雄市は、在庫をしぼっていたが、最後の2月分が不足する見込みが出て来たため、通常は、単価の安い中国製を使っているが、その時は高い国内製を1ヶ月分に当る10万枚を急遽追加作成したと言う。

結果その分程度が、旧武雄市での袋の不良在庫となっている。

一方、左表の様に、どちらかと言え、旧山内町や北方町が人口に対し、不良在庫は多くこの問題の要因の多くをしめている。

また、旧武雄市には、別にゴミ袋に名前を書く以前の袋の不良在庫が同じく10万枚程度あり、婦人会へ、名前を余白に書くことを条件に販売をされ6万枚に減ったが、それも新市袋になってからは行なわれていないようだ。

結論としては、樋渡市長が、旧袋の販売をするの方針で、9月議会に定め、いくぶん引きがらって条例に定め、売れるものと思われ。ちなみに、袋作成の平均単価は、約10円で、約40万枚在庫があるので袋代で400万円が活用される。

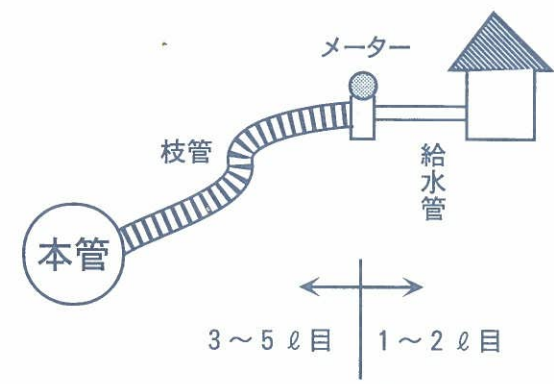
今回の新市袋は、旧袋の平均単価は、約10円で、約40万枚在庫があるので袋代で400万円が活用される。

今回の新市袋は、旧袋の平均単価は、約10円で、約40万枚在庫があるので袋代で400万円が活用される。

今回の新市袋は、旧袋の平均単価は、約10円で、約40万枚在庫があるので袋代で400万円が活用される。

今回の新市袋は、旧袋の平均単価は、約10円で、約40万枚在庫があるので袋代で400万円が活用される。

旧武雄市	人口35,000人	15万枚 (名無し6万枚)
山内	人口9,600人	16万枚
北方	人口8,400人	9万枚



どうなる たけお競輪の未来



改めて、たけお競輪の概要をお知らせすると、競輪事業は、旧武雄市以前の旧武雄町の時代、昭和25年に始められ、それを引きついでいます。国の戦後の復興政策として国が競輪競技法を制定。施行の自治体は、旧軍港・軍工場の代償のような認可で、武雄の場合、当時の政治力や努力で引っ張って来た、財産とも聞きます。

以来これまで年間最高10億円、合計約60億円程度を一般会計に繰入れて市に貢献してきました。ただ、ここ数年間は、単年度赤字が年間2〜3億円程度続いている、以前10数億円あった基金も、このまま行けば、数年後には一般会計から、補填しなければいけない事態も想定され、大変な決断の時期を迎えることになります。

そこで武雄市は、コンサルタントに、経営計画を発注し、その対策についても、場外発売所を、宮崎やみぞべ（鹿児島県）に設置するなど一応の対策はしました。しかしながら、H18年度の競輪特別会計の予算書を見ると、基金から、2億3千万円を取り崩す予定がされており、基金残高は約3億円になる予定で、やっぱりこのまま行けば、3年後には赤字に転落し、市の負担が発生する状況に変わりはあります。

やはり、ここで次なる対策を実施する必要があります。市担当者、今後の対策をどう考えているかを時折たずねると、最近「我々の努力だけでは限界がある。」との、諦めとも聞き直りとも思える発言を聞き、もっと市長を先頭に、市幹部や議員も集中して問題解決に取り組まなければ

ならないと思います。

ここで、売上げの状況を少し説明すると、たけお競輪の年間の収入の構成は、2つの柱から成っている、**通常開催**（月6日間の武雄本場開催と他場の分の場外発売）と**開設記念**（年1回、武雄競輪にトップクラスの選手を迎えて、全国で発売してもらう。）で全額ベースでは、130億円中の

◎通常開催が、約50億円
◎記念競輪が、約80億円
となっていて、年間300日余り開催する通常開催の売上げは、50億円にしかならず、しかもその部分での収支は赤字という。

一方、年間わずか、4日間だけの開催のたけお競輪開設記念レースが80億円の収入で、その分の収支の黒字で、通常開催分の赤字を穴埋している状況。

ただ、これは全国48場の大半の競輪場に共通する事と言う。そこで、たけお競輪の売上げが全国約50場の中で、どの程度かと言えば、下位5場内、ちなみに佐世保・防府・観音寺・小松島も同じ状況を解決すべく努力しています。（スポーツ紙で売上げを見れば分る。）

今6月少し明るい兆しが出て来ました。それは、6月の10日から4日行なわれた、たけお競輪開設56年記念で、80億円の予定に対し、94億円を売り上げたため、増加分14億円から、利益が8千万円程度出ると考えられ、年間2億3千万円の赤字が、1億5千万円程度に押えられる可能性も出て来ました。

もう一方、佐賀市の藤野孝彦選手が、日本競輪学校の91期を1位で卒業しデビューするなど、10年

前の吉岡・佐々木という地元スターによる盛上がりも期待できる所です。その他に、競輪は日本自転車振興会にお金を上納し、それが色々の産業や福祉に使われていますが、武雄競輪の上納金は、年間4億円程度あり、これの減免について、全国競輪議長会で、経済産業省と交渉していますが、国もなかなか応じてくれません。これが半分に削減されると、武雄競輪もずっと続けていけないのですが……。

ただ、経済省も上納金の半分程度を、競輪場の施設改善に、補助するとの譲歩案を示しています。また、3連単等のパソコン機械のリースが数年後に終り、再リースを安く契約できれば、数千円円助かる見込みです。

市長は、中国人客による、売上げアップを短期的に実現するとのことですが、現実的対応も望みます。

市民病院好転の兆し

最近の市民病院の経営は、国が赤字の1/5を5年間補填する期間も終り、また、救急に欠くことのできない、脳外科医が、研修医制度の導入等により、佐賀大医学部に引き上げられ、先行き暗かった。私は、大学からの再派遣を前提に、若くても給与待遇を良くしないと医師が見つからないと改善を求めていた。

今回、樋高病院長が、白石共立病院から、橋川先生、48才を、招く事に成功していただき、大変感謝している。給与は、年齢も高く、公務員の医療職の計算でも現給程度払えるとのことと安心した。医学部派遣でないのも、長く務めていただく事を望む。

すでに、脳関係の入院が、11ベッドあり、成果が出ていると言う。一方、経営の方は、H18年予算では1・5億円の赤字だが、手元に残る減価償却費も1・5億円程度あり、現金ベースでは回っている。また、H17年度医療コンサルタントに、約7百万円で経営診断を発注していたが、委託料など経費削減など12項目が指摘されていると言う。さらに7百万円で今H18年度に、今後の長期的対策を発注していると言う。

私は、将来的には、大町町立病院などと統合し、県立好生館ではないが、広い場所に移転し、公設民営化して、高度な2次医療に特化し、地元の1次医療と住み分け

黒字？・赤字？

武雄温泉ハイツの精算

H16年、雇用能力開発機構から約1千万円と安い金額で、建物本体を、武雄市が購入していた。運営（経営）は、以前と同じ武雄市長や部長を理事とする、佐賀福祉事業団で経営を続けていた。私は、ここ数年、経営状況が悪くなっていたので、赤字を出す市が補填せねばならない事も考えられるので、早く民間に貸出して経営してもらおうと提案していた。

しかし、武雄市は、このまましばらく経営するとの方針で、福岡ダイエーのシホークホテルから支配人を招き、H16年度は努力も見られ、かろうじて百万円の黒字。H17年度より、経済部長が支配人となり、経営するとの事で、しかも、市に家賃を月2百万円払うという事で、私は素人が、年2千万円もの利益を上げることは不可能と思って、お手並み拝見。

案の定、途中売上げが上ってなかったの対策を聞くと、18年度からは民間に貸し出し、17年度の赤字は、資産売却等で対応し、赤字にならず、市民に負担はかけないとのことで、一応納得していた。しかし、結局18年度は清算費用もあったが、経営赤字が、3100万円も出してしまった。これまでも数年で積み立てた、繰越金や福祉事業団が、一部保有していた駐車場などの土地を市に売却して、形としては、残金290万円を、武雄市に寄付して無事精算できたように思えるが。

もし、1年前に、貸出していたら、繰越金3100万円が、市に寄付されたとも考えられるし、私が特に問題視しているのは、事業団から、簿価1900万円の山林



市が3,700万円で購入した土地
平地は上だけで残りは崖が大半

連帯を緊密にして、公で行う意味を明確にして経営。まず第1歩として、県・国レベルで行なうべき結核病床を廃止し、新県病院に任せ、その分、一般病室の個室化を推進し、患者に快適な病院になっ

作成後記と 今後のプラン

新武雄市になって、初めての栄八通信を出してほっとしています。公約どおり、議員專業化・提案型議員をこの4年実践していくつもりです。

合併・また私より15才も若い市長ということで、これまで、石井・古庄市長時代とは、雰囲気も変わりましたが、ただ、直面する高架・区画整理や、上下水道問題、高齢化や子育て支援など、課題も、予算も、そう変化はありません。

これまで同様、原案を作る担当者や課長と十分に意見交換し、原案段階で、私の提案や市民の意見を反映できるよう努力します。

※緊急報告※これまで、新聞折込していた、佐賀新聞サービス（0952・32・4848）が選挙中の誹謗中傷のビラの問題等で一律に、政治活動の折込を受け付けないとの連絡があり、だいぶ交渉しましたが、今回を最後に、栄八通信を折込めなくなりしました。

今後も、議会ごとで作成しますが、手配り、郵送、インターネット等伝達方法はこれから考えるつもりですが、市内全区长さんには送付するつもりです。

一方、山内町には、議会だよりがあったそうですので、武雄市でも議会だよりを発行してもらおうように働きかけようと思っています。